



走り走愛

(そうしそうあい)

「やる気」

「勇気」

「元気」

令和8年度 No.06

令和8年5月13日

【文責】小林信一

トウモロコシ収穫したよ

先週7日(木)、本校2・3年生が平木の斉藤農園でトウモロコシの収穫体験に取り組みました。テレビ局の取材もあったため、私も同行させていただきました。斉藤さんが12月に種まきをして、1月にビニールハウスに植え替えて、毎日お世話をされて立派に育ったドルチェドリームという品種のトウモロコシを一人17本、計600本近く収穫しました。



ハウスの中は暑くても収穫頑張りました



採れたてのトウモロコシをいただきました



工土さんが代表でお礼を發表しました

私もビニールハウスの中に入り収穫の手伝いをしましたが、本当に暑かったです。日頃の農家さんの苦勞が子どもたちも少しは感じたみたいですね。また、収穫したてのトウモロコシはとてもみずみずしくて甘く美味しかったです。斉藤さん、大変お世話になりました。

150周年を終えて ①改築記念碑

今年2月14日に走瀉小学校創立150周年記念式典並びに地域公開学習発表会を開催しました。その際には本当に多くの方々にご大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。

さて、明治7年(1874年)10月30日に創立された走瀉小学校ですが、昨年度はこの学校だよりをとおして皆さんに歴史の一部をお知らせしてきました。今年もできる限りお伝えしていきます。第1回は改築記念碑です。

改築記念碑は正門(西門)のそばに創立百周年記念碑と並んで設置されています。記念碑の裏には以下のとおり文章が刻まれています。

記念碑の建立にあたって

明治、大正、昭和の時代を伝統された歴史ある走瀉小学校も時勢にしたがい、昭和58年10月、宇土東小学校に統合するという事態に直面した。

当校の存続を願う校区民は、即時走瀉小学校校舎建築促進期成会を結成し、学校存続、改築着工の陳情誓願の努力を重ねて10年、ついに平成5年2月市当局は、懸案山積のなか校区民の悲願に応じて校舎改築を決定、翌6年の秋竣工を見る。

ここに宿願は成り、校区民一同無上の喜びとなる。

平成7年3月吉日

(一部省略しています)

平成7年3月当時、私は大学3年生でした。まだ教員になっていません。その頃に完成した走瀉小の校舎が今なお大切に使われています。この学び舎を巣立った卒業生が、今、本校児童の保護者としてPTA活動などに携わってくれています。私たち教職員は、こうした地域の思いや歴史を受け止め、「チーム走瀉小」として一人ひとりの子どもと向き合い、「やる気」「勇気」「元気」を合い言葉にたくましい走りっ子の育成に努めていきます。これからも本校をどうぞよろしくお願ひします。